



平成 22 年 5 月 20 日

各 位

会 社 名 三井住友建設株式会社
 代表者名 代表取締役社長 則久 芳行
 (コード番号1821 東証第一部)
 問合せ先 経理部長 橋 修一
 (TEL 03-4582-3026)

(訂正・数値データ訂正あり)「平成 22 年 3 月期 決算短信」の一部訂正について

平成 22 年 5 月 14 日に発表しました「平成 22 年 3 月期 決算短信」の記載事項の一部に訂正がありますので下記のとおり訂正いたします。

記

1. 訂正内容

平成 22 年 5 月 20 日開催の取締役会において、平成 22 年 3 月 31 日を基準日とする優先株式に対する剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、関連する項目について訂正するものです。

2. 訂正・追加箇所

訂正箇所には、下線 を付して表示しています。また、追加箇所については、追加した旨の記載をしています。

(1) 1 ページ (いずれも 22 年 3 月期に係る記載数値)

1. 22 年 3 月期の連結業績 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

項目	訂正前	訂正後
(1)連結経営成績	円 銭	円 銭
1株当たり当期純利益	9.26	6.22
(2)連結財政状態	円 銭	円 銭
1株当たり純資産	△51.73	△54.76

2. 配当の状況 (下記内容の記載を追加)

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式 (非上場) の配当の状況については、3 ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

(2) 2 ページ (いずれも 22 年 3 月期に係る記載数値)

1. 22 年 3 月期の個別業績 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

項目	訂正前	訂正後
(1)個別経営成績	円 銭	円 銭
1株当たり当期純利益	5.54	2.51
(2)個別財政状態	円 銭	円 銭
1株当たり純資産	△65.00	△68.03

(3) 3 ページ (下記内容の記載を追加)

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳及び配当金総額は以下のとおりです。

(基準日)	1株当たり配当金					配当金総額
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円
21 年 3 月期						
第二回 A 種優先株式	—	0.00	—	0.00	0.00	—
第三回 C 種優先株式	—	0.00	—	0.00	0.00	—
第三回 D 種優先株式	—	0.00	—	0.00	0.00	—
22 年 3 月期						
第二回 A 種優先株式	—	0.00	—	8.45	8.45	38
第三回 C 種優先株式	—	0.00	—	67.25	67.25	394
第三回 D 種優先株式	—	0.00	—	67.25	67.25	400

(注) 23 年 3 月期の配当については未定です。

(4) 3 ページ (下線部分の記載を追加)

(参考) 「22年3月期の連結(個別)業績」指標算式

○潜在株式調整後1株当たり当期純利益

$$\frac{\text{普通株式に係る当期純利益} + \text{当期純利益調整額}}{\text{普通株式の期中平均株式数} + \text{普通株式増加数}}$$

(注) 当社が発行している全優先株式について、普通株式を対価とする取得請求権が行使されたと仮定した場合に発行される普通株式数(潜在株式数)を発行済普通株式の期中平均株式数に加えて、上記算式により計算しています。

(5) 6 ページ (下線部分の記載を追加)

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、企業体質の強化及び将来の事業展開に備えて内部留保の充実を図り、安定的な配当を継続することを基本方針といたしますが、具体的には業績の推移と今後の経営環境等を勘案して決定させて頂くこととしております。

なお、当期の配当につきましては、各種優先株式に対しましては、優先株式要項で定めた所定の計算に基づく配当を実施することといたしました。

しかし、普通株式に対しましては、平成19年度、平成20年度決算において大幅な当期純損失を計上したことにより減少した当社資本金を、まずは充実させていただき、企業価値、並びに信頼性の向上を図るために、誠に申し訳ございませんが、無配とさせていただきます。

次期以降につきましては、「顧客満足の追求」「株主価値の増大」という経営理念のもと、普通株式に対しましても早期復配を果たすべく努力してまいります。

(6) 21 ページ (訂正・追加後 22 ページ)

[訂正前]

当連結会計年度(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

3 配当に関する事項

該当事項はありません。

[訂正後]

当連結会計年度(自平成21年4月1日至平成22年3月31日)

3 配当に関する事項

基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	配当の 原資	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成22年 6月29日 定時株主総会 (予定)	第二回A種優先株式	38	利益 剰余金	8.45	平成22年 3月31日	平成22年 6月30日
	第三回C種優先株式	394		67.25		
	第三回D種優先株式	400		67.25		
合計	—	833	—	—	—	—

(7) 25 ページ (訂正・追加後 26 ページ いずれも 22 年 3 月 期 に 係 る 記 載 数 値)

(1 株 当 た り 情 報)

項目		訂正前	訂正後
1株当たり純資産額		△51.73円	△54.76円
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)		9.26円	6.22円
1株当たり純資産額			
純資産の部の合計額から控除する金額	(百万円)	34,530	35,364
(うち優先株式の払込金額)	(百万円)	(31,807)	(31,807)
(うち優先配当額)	(百万円)	(—)	(833)
(うち少数株主持分)	(百万円)	(2,723)	(2,723)
普通株式に係る期末の純資産額	(百万円)	△14,220	△15,053
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)			
普通株主に帰属しない金額	(百万円)	—	833
(うち優先配当額)	(百万円)	(—)	(833)
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)	(百万円)	2,543	1,710
潜在株式調整後1株当たり当期純利益			
当期純利益調整額	(百万円)	—	833
(うち優先配当額)	(百万円)	(—)	(833)

以 上